

<問題Ⅳ－(2)：造 園>

1. 西洋における庭園様式と国名の組み合わせとして、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。

- a. カスケード庭園 － スペイン
- b. テラス式庭園 － イタリア
- c. 平面幾何学式庭園 － フランス
- d. 自然風景式庭園 － イギリス

(出典：「改訂27版造園施工管理 技術編,平成27年6月発行,編集：一般社団法人 日本公園緑地協会」)

2. 「都市における生物多様性指標(簡易版)国土交通省」における生物多様性指標と使用するデータの組み合わせとして、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 緑地等の現況 － 国土数値情報
- b. 法令等により確保されている緑地の状況 － 国土数値情報・都市計画基礎調査
- c. 動植物種の状況 － アンケート回答による自己評価
- d. 都市におけるエコロジカルネットワークの状況 － アンケート回答による自己評価

(出典：「都市における生物多様性指標(簡易版),国土交通省都市局公園緑地課・景観課,平成28年11月」)

3. 「生産緑地法」の一部改正により生産緑地地区内に設置することが新たに可能となった施設として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 温室
- b. 休憩所(市民農園利用者用を含む)、農作業講習施設
- c. 農産物等直売所
- d. 農産物の集荷施設

(出典：「国土交通省 生産緑地法等の改正について(改正年度2017年)」)

4. 都市公園の整備、管理運営に活用できる制度とその根拠法の組み合わせとして、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 指定管理者制度 — 地方自治法
- b. Park - PFI — 都市公園法
- c. 設置管理許可制度 — 都市公園法
- d. PFI 事業 — 地方自治法

(出典：「都市公園の質の向上に向けたPark - PFI活用ガイドライン, 平成30年8月改正, 国土交通省都市局公園緑地課・景観課」)

5. 「Park - PFI 制度」における事業期間の目安として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 1-3 年程度
- b. 5 年
- c. 10 年以内
- d. 20 年以内

(出典：「都市公園の質の向上に向けたPark - PFI活用ガイドライン, 平成30年8月改正, 国土交通省都市局公園緑地課・景観課」)

6. 都市公園における公園施設の制限に関する記述として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 都市公園内の建築物の建築面積は、原則として敷地面積の 2 %を超えてはならない。
- b. 運動公園における運動施設の敷地面積の総計は、敷地面積の 5 0 %を超えなければならない。
- c. 宿泊施設は、特に必要があると認められる場合は設けることができる。
- d. メリーゴーラウンドのような利用料金をとる遊戯施設は、5 h a 以上の都市公園でなければ設けてはならない。

(出典：「都市公園法, 平成26年6月改正」, 「都市公園法施行令, 平成28年8月改正」)

7. 「都市公園法施行令」に規定されている「当該市町村の市街地の都市公園の当該市街地の住民一人当たりの敷地面積の標準」として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 5 m²以上
- b. 1 0 m²以上
- c. 2 0 m²以上
- d. 2 5 m²以上

(出典：「都市公園法施行令, 平成28年8月改正」)

8. 地域制緑地における制度名と根拠法の組み合わせとして、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 緑地保全地域 — 都市緑地法
- b. 風致地区 — 都市計画法
- c. 国立公園 — 都市公園法
- d. 緑化地域 — 都市緑地法

(出典：「国土交通省HP「公園とみどり」」、「自然公園法,平成14年4月改正」)

9. 法面の保護や景観向上のために行う法面緑化植栽工のうち、盛土法面に適したものを、a~d のなかから選びなさい。

- a. 植生マット工
- b. 植生ポット工
- c. つる性植物による緑化
- d. 植生袋工

(出典：「都市公園技術標準解説書, (平成28年度版), 監修:国土交通省, 発行:一般社団法人 日本公園緑地協会」)

10. 公園内の園路等に関する設計基準として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 自転車道の幅員は1車線1m、曲線半径は10m以上とする。
- b. 管理用トラックが入る園路幅員は3mを確保する。
- c. 広場的な扱いとなる園路幅員は10m以上とする。
- d. 車いす使用者同士がすれ違える園路幅員は1.8mとする。

(出典：「都市公園技術標準解説書, (平成28年度版), 監修:国土交通省, 発行:一般社団法人 日本公園緑地協会」)

11. 公園で犯罪防止に配慮した設計において、概ね必要とされる水平面照度(床面又は地面における平均照度)として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 1ルクス以上
- b. 3ルクス以上
- c. 6ルクス以上
- d. 10ルクス以上

(出典：「防犯照明ガイド vol. 5, 平成27年1月, 発行:公益社団法人 日本防犯設備協会」)

12. 日本庭園の伝統的な植栽技法のうち、「正真木（しょうしんぼく）」の説明文として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 庭の中心に植栽される樹木で、樹形の優れた常緑の大木を原則として植栽する。
- b. 背景樹で庭の境界に植栽する。マツ類がよいが、それに限定されずカシ類、モミ、コウヤマキ、ウメ等も用いられる。
- c. 庭が南に面している時に、東の方向に植栽する。常緑の針葉樹または常緑の広葉樹とし、なかでも幹や枝葉の美しいものとする。
- d. 庭が南に面している時に、西の方向に植栽する。主に落葉樹が用いられる。

(出典：「改訂27版造園施工管理 技術編,平成27年6月発行,編集：一般社団法人 日本公園緑地協会」)

13. 移植が容易な樹木として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. シャリンバイ
- b. ジンチョウゲ
- c. アジサイ
- d. トベラ

(出典：「都市公園技術標準解説書, (平成28年度版), 監修:国土交通省, 発行:一般社団法人 日本公園緑地協会」)

14. 日本芝と西洋芝の特徴に関する記述として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 日本芝は、葉質が硬く、草丈が低く、刈込回数が少なく済む。
- b. 日本芝は、踏圧に耐える力が大きい。
- c. 西洋芝は、乾燥時はもちろん、適宜灌水する必要がある。
- d. 西洋芝は、肥料は多く要しない。

(出典：「改訂27版造園施工管理 技術編,平成27年6月発行,編集：一般社団法人 日本公園緑地協会」)

15. 公園施設長寿命化計画において、事後保全型の管理を行うことが適切と考えられる施設を、a～d のなかから選びなさい。

- a. 鋼製の橋梁
- b. 野球場
- c. 駐車場(平面式)
- d. 休憩所(10 m²以上)

(出典：「公園施設長寿命化計画策定指針(案)改訂版,平成30年10月,国土交通省都市局公園緑地・景観課」)

16. 「視覚性・現実性がよく、実態感・臨場感をよく表現できるものの、仮想の視点の設定が不可能」という特徴を持つ景観影響予測手法として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. コンピュータ・グラフィックス
 - b. 模型
 - c. フォトモンタージュ
 - d. 透視図

(出典：「景観工学, 2003年3月」)

17. 道路の動物保全対策に関する記述として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 侵入防止柵は、動物の本線横断を防止するために設けることができるが、同時に道路下あるいは道路をまたぐ横断施設への誘導も兼ねている。
 - b. 動物の道路横断施設には、道路の上をまたぐタイプであるアンダーパスと、道路の下を潜るタイプであるオーバーパスがある。
 - c. 走光性昆虫類に対する照明対策として、高圧ナトリウム灯を使用する。
 - d. 道路に付帯する側溝に小動物が落下することを防止したり、這い上がれるような対策を行う。

(出典：「道と緑のキーワード事典, 2002年5月, 道路緑化保全協会」)

18. 石積工のうち、長手積、俵積、矢羽積といった伝統的な積み方のある工法として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 玉石積
 - b. 間知石積
 - c. 雑割石積
 - d. 野面石積

(出典：「改訂27版造園施工管理 技術編 平成27年6月発行, p742, 編集：一般社団法人 日本公園緑地協会」)

19. 壁面緑化に用いる緑化材料のうち、付着盤型に分類されるツル植物として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. モッコウバラ
 - b. ヤブガラシ
 - c. フジ
 - d. ナツツタ

(出典：「ランドスケープ体系第4巻 ランドスケープと緑化, 日本造園学会, 1998年12月」)

20. 「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」における樹高の基準として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 樹高とは、突出した枝を含む樹冠の頂端から根鉢の上端までの垂直高をいう。
- b. 2本立の株立（物）樹木では、1本は所要の高さに達しており、他は所要の樹高の70%以上に達していること。
- c. 3本立以上の株立（物）樹木では、指定株立数について過半数は所要の樹高に達しており、他は所要の樹高の50%以上に達していること。
- d. 3本立以上の株立（物）樹木では、1本は所要の樹高に達しており、他は所要の樹高の70%以上に達していること。

（出典：「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」の解説,平成21年2月,国土交通省緑地環境室）

21. 運動施設の配置計画における方向の設定について、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. テニスコートの長軸方向を、恒風の方向と直交する方向にした。
- b. 野球場の長軸方向を、東西とした。
- c. サッカー場の長軸方向を、南北にした。
- d. 陸上競技場のトラック・フィールドの長軸方向を、東西にした。

（出典：「改訂27版造園施工管理 技術編,平成27年6月発行,p326,329,332,317,編集:一般社団法人 日本公園緑地協会」）

22. 公園緑地の効果は、存在効果と利用効果に大別されるが、利用効果に含まれる例として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. ヒートアイランドの緩和
- b. 地域のコミュニティ活動の場
- c. 大規模地震火災時の避難地
- d. 美しく潤いのある都市景観

（出典：「公園緑地マニュアル 平成21年版,国土交通省公園緑地・景観課」）

23. 都市公園における管理施設に該当する公園施設として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 照明施設
- b. 掲示板
- c. 雨水貯留施設
- d. 野外卓

（出典：「都市公園法施行令,平成30年改正」）

24. 「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」による通路の基準として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 園路の縦断勾配を 5 % 以下とする。
- b. 園路の横断勾配を 3 % 以下とする。
- c. 園路の有効幅を 1 8 0 c m 以上とする。
- d. 路面から 2 0 0 c m までの空間に天井、壁面、標識からの突出物を設けない。

(出典：「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂版】，平成24年3月，国土交通省）」

25. 地被（グラウンドカバー）で用いられる植物のうち、玉状で紅色などの実が冬季に鑑賞できる種類として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. テイカカズラ
- b. マンリョウ
- c. アジュガ
- d. フッキソウ

(出典：「緑化・植栽マニュアル，平成16年8月，経済調査会）」

26. 「日長（昼間の長さ）の周期的変化による植物の反応性」を意味する用語として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 陰陽性
- b. 走光性
- c. 光要求性
- d. 光周性

(出典：「ランドスケープ体系第4巻 ランドスケープと緑化，日本造園学会，1998年12月）」

27. 屋上緑化で用いられるセダム類の特徴として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。

- a. 多肉質の葉に水分を蓄えているため極めて乾燥に強い植物であるが、過湿には弱い。
- b. 通常5月から6月にかけて最大の被覆率を示すが、夏季以降は被覆率が落ちる。
- c. 踏みつけに強いので、芝生と同じような用途ができる。
- d. 単一のセダム種で構成した場合、天候、病虫害などで壊滅的な打撃を受ける場合がある。

(出典：「新版 屋上緑化設計・施工ハンドブック，2014年8月，屋上開発研究会）」

28. ソメイヨシノの特徴として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. オオシマザクラとエドヒガンの交雑種といわれている。
- b. 江戸末期に染井村（現東京・駒込）の植木屋から広められた。
- c. エドヒガンと同じように寿命は長い。
- d. ひとつの樹を起源とするクローンである。

（出典：「図説 花と樹の大事典, 1996年2月, 植物文化研究会」）

29. 土壌改良材のうち、養分や養分保持の効果は期待できないが、透水性の改良には特に有効となるものとして、正しいものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 黒曜石系パーライト
- b. 炭酸カルシウム
- c. ゼオライト
- d. ピートモス

（出典：「植栽基盤整備技術マニュアル, 平成21年4月, 日本緑化センター」）

30. 「遊具の安全に関する規準」の落下高さや安全領域に関する記述として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。

- a. 落下高さとは、通常の利用形態で利用者が容易に到達できる遊具の部位と、そこから直接に落下すると想定される面との垂直距離とする。
- b. 落下高さは、転落による重度の傷害あるいは恒久的な障害を最小限とするため、その最大値を幼児用では 2,000mm、児童用では 3,000mm とする。
- c. 安全領域の範囲は、落下高さ・対象とする年齢・設置環境などにより決定する。
- d. 安全領域とは、遊具の安全な利用行動に必要なとされる空間で、子供が遊具から落下したり飛び出した場合に到達すると想定される範囲であり、遊具の外形線から側方のみが必要である。

（出典：「遊具の安全性に関する規準 JPFA-SP-S:2014, 平成26年6月, 日本公園施設業協会」）

<問題Ⅳ－(2)専門技術 正解>

(造園)

出題番号	解答
1	a
2	d
3	c
4	d
5	d
6	b
7	a
8	c
9	a
10	c
11	b
12	a
13	c
14	d
15	c
16	c
17	b
18	a
19	d
20	b
21	c
22	b
23	d
24	b
25	b
26	d
27	c
28	c
29	a
30	d